

2019年度 1級・2級電気通信工事施工管理技士 実地 配付教材 正誤表

配付教材において、下記のとおり、誤りがございました。内容を訂正すると共に、受講生の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

◎ **電気通信施工管理技士 実地要点テキスト**

頁	誤	正
47	◎ 同軸ケーブルの敷設 の説明 ① 同軸管の最小曲げ半径は、… ② 同軸管の支持間隔は、… ③ 同軸管と無線機空中線端子の接続は、… ④ 同軸管の相互接続及び端末は、… ⑤ 同軸管を鋼板組立柱などに取付ける場合は、同軸管を損傷しないように防護し、…	① 同軸 ケーブル の最小曲げ半径は、… ② 同軸 ケーブル の支持間隔は、… ③ 同軸 ケーブル と無線機空中線端子の接続は、… ④ 同軸 ケーブル の相互接続及び端末は、… ⑤ 同軸 ケーブル を鋼板組立柱などに取付ける場合は、同軸 ケーブル を損傷しないように防護し、…

◎ **電気通信施工管理技士 実地 問題集**

頁	誤	正
52	1行目 2. 同軸ケーブルの敷設 ① 同軸管の最小曲げ半径は、… ② 同軸管の支持間隔は、… ③ 同軸管と無線機空中線端子の接続は、… ④ 同軸管の相互接続及び端末は、… ⑤ 同軸管を鋼板組立柱などに取付ける場合は、同軸管を損傷しないように防護し、…	① 同軸 ケーブル の最小曲げ半径は、… ② 同軸 ケーブル の支持間隔は、… ③ 同軸 ケーブル と無線機空中線端子の接続は、… ④ 同軸 ケーブル の相互接続及び端末は、… ⑤ 同軸 ケーブル を鋼板組立柱などに取付ける場合は、同軸 ケーブル を損傷しないように防護し、…
94	【解答・解説】 設問4 FとIの作業を1日短縮する。	設問4 F 又は Iの作業を1日短縮する。
109	●図表2 16日(火)の出来高 64%	16日(火)の出来高 69%
100	〔設問5〕 次頁をご確認いただきますようお願い申し上げます。	
112	〔設問4〕 この工事の着工が日遅れた場合、工事完了の…	この工事の着工が 3日 遅れた場合、工事完了の…
114	●図表2 18日(木)の出来高 87.5%	18日(木)の出来高 85%

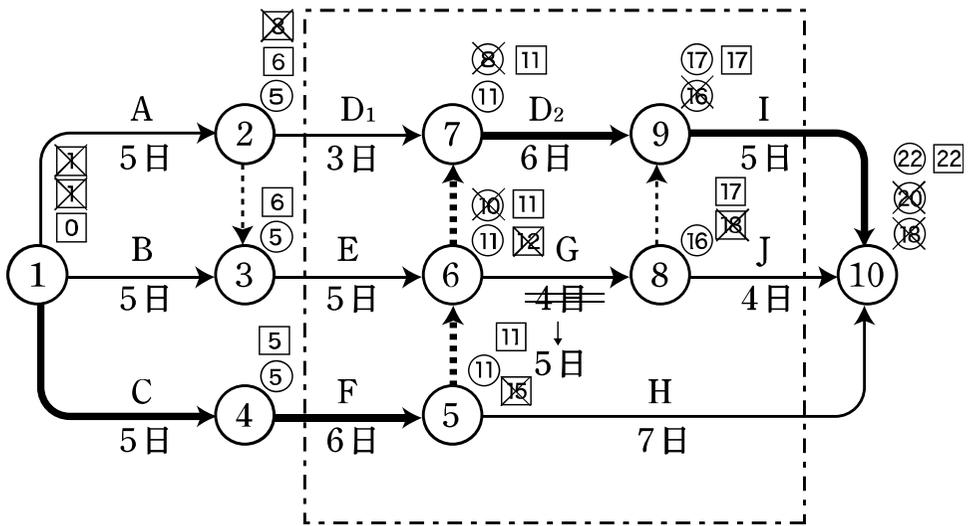
◎ **電気通信施工管理技士 実地 受験対策資料**

頁	誤	正
36	問題① 安全管理 (1) 事項と理由 本工事は、天井高2.5mの高所の無線LAN装置取り付け工事であった。そのため、脚立作業で作業員がバランスを崩すことによる墜落災害を予測した。	本工事は、天井高2.5mの高所の無線LAN装置取り付け工事であるが、 足場を設けることができない狭い場所であった 。そのため、脚立作業で作業員がバランスを崩すことによる墜落災害を予測した。

以上

〔設問5〕 差し替え版

変更後の工期 22 日を、従来の工期である 20 日(2 日間短縮)で完了させることを考える。



※○:最早開始時刻、□:最遅完了時刻

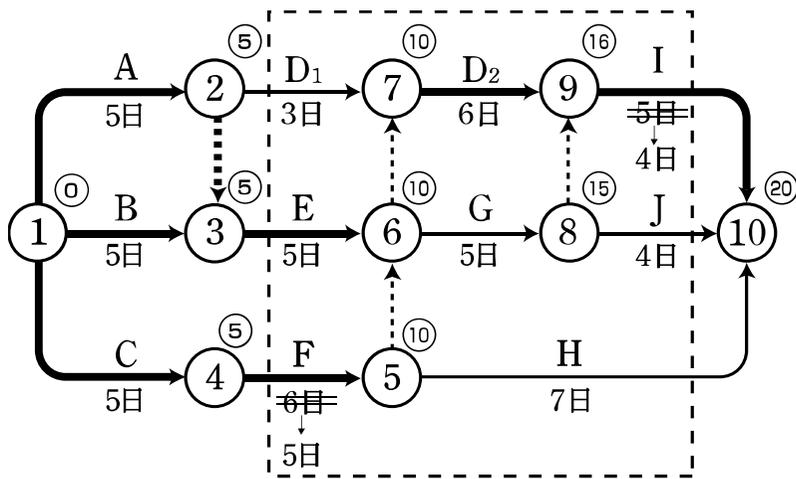
短縮の対象となるのは、開始5日目以降の作業であり、かつクリティカルパス上にある(C →)F→D₂→Iである。問題条件より D₂は再変更できないため、対象はF、Iに絞られる。

作業Fの短縮可能日数 $6 \times 0.2 = 1.2 \rightarrow 1$ 日

作業Iの短縮可能日数 $5 \times 0.2 = 1.0 \rightarrow 1$ 日

Fで1日、Iで1日短縮すると、工期は20日(2日間短縮)となる。

日程短縮後のネットワーク工程表は次のとおりである。



※○:最早開始時刻